

三宮巨大
開発よりも

住みよい垂水区へ

2016年度神戸市予算案が出されました。

久元市長が進める、都心・三宮の再開発に94億円の予算をつけ、三宮再開発の全貌が明らかになってきました。駅の近くにバス停を整備するため区役所(図書館、勤労会館)やサンパルなどが移転させられようとしています。実現すると日本一のバス停に。なぜこんなに広い土地がいるのかといふ問いには、市は答えることができませんでした。

その一方で幼稚園の廃園や敬老祝い金の廃止など、市民に身近な予算の削減がされています。三宮再開発には数千億円が必要とされ、今後数十年にわたって、市民サービスや福祉・子育ての切捨てが行われることが予測されます。

三宮に人が集中すれば、神戸の経済が良くなると考えるのは、現実を見ない幻想です。市民生活は厳しく、賃金があがっても、物価の上昇によって実質的にはマイナス。高齢者にとっても年金が下げられ暮らしは大変です。こういうときだからこそ、9区バランスの良い街づくりではないでしょうか。

地方自治体が果たさなければならない役割は、市民への

直接的な支援策をおこなう事です。敬老祝い金を復活させ、中学卒業までの医療費の無料化、幼稚園・保育所の統廃合の中止などをもとめて頑張ってまいります。

中学校給食はデリバリーにこだわらず、 自校方式へ見直しを

昨年11月から全校実施が予定されていたにもかかわらず、異物混入で、西区と東灘区を除く7区で中学校給食が中断したままです。議員団は、教育委員会に「一刻も早く再開を」「デリバリーにこだわらずに、自校方式の検討を行うよう」に申し入れました。



願いをまっすぐに届けます

日本共産党市会議員団の実績

- 子どもの医療費助成拡充(就学前までの所得制限撤廃、一部負担も500円から400円に)
- 小児慢性特定疾患、重度障がい児、母子等医療助成の拡充
- 保育料の多子世帯軽減(国と県の施策に上乗せして実施)
- 公設学童保育の受け入れ時間を19時まで延長
- いじめ不登校対策でカウンセラーなどの充実
- 医療的ケアを必要とする児童生徒への支援強化
- こうべ学びの支援センターの相談体制の強化
- 障がい者自動車燃料費助成制度の創設
- 阪急花隈駅のバリアフリー化予算化



医療的ケアの必要な子どもが地域の学校に通えるよう支援の強化を求め、予算化されました。

駅のバリアフリー問題を委員会で2度取り上げ、今回阪急花隈駅のバリアフリー化に予算がつきました。

福祉・環境常任委員会で質問し実現しました

日本共産党 神戸市会報告
垂水区・東部版 2016年春号

発行：日本共産党神戸市会議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内
TEL 322-5847 FAX 322-6165 市議団HP <http://www.jcp-kobe.com/>

今井まさこ

神戸
市会議員